

# 吉川ミーティング VOL.6

2012年 春号



## \*結果を出してこそ\*

◆昨年4月10日の統一地方選で県議員に選出され、それまでの普通の市民としての生活が一変し、政治家としての日々がスタートした。

◆知らないことだらけ、慣れないことだらけの毎日だけれども、「新人議員だから」という甘えや言い訳の気持は全く無い。

◆なぜなら、僕に与えられた大きな「使命」のひとつは、「政治における決定を可視化し、その決定に市民の参加を可能にし、さらにその結果をきちんと伝えていく」という「閉そく感の打破」と「新たな政治システムの構築」であり、それは、新人だろうが、古参だろうが、「やる気」「展望」「賛同者」があれば出来ることだからだ。

◆そしてもうひとつの「使命」は、現在・未来の経済状況を踏まえたうえで、どう「教育・福祉・医療」のバランスをとり、「市民を守ってゆく」か、それを現役世代の代表として意見をまとめてゆくということだ。

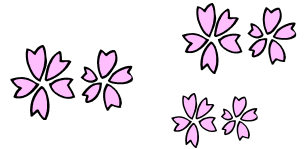
◆これも、これまでNPO法人の代表として子供たちの「教育・福祉・医療」に関わってきたという背景、さらに年齢もまさに現役世代であるということを選択されている県議への選出であるわけで、ここにも「新人である言い訳や甘え」が存在する余地は無い。

◆ゆえに、僕は、市民代表の即戦力として、短期・中期・長期それぞれのテーマに、それぞれの結果をみんなから求められている、と常に頭に置いて活動している。

◆いよいよはじまった新年度、これからも、結果を求めて、全力で走り続けます。

平成24年 春

中原恵人



## 第17回なまずの里マラソン

仲間5人で10キロの部門に参加しました！  
無事完走！記録57分！  
春を感じて街を走る、  
気持ちの良い一日でした！（^^）

## 予算議会も終わり、いよいよ新年度スタート！

●一ヶ月半近くに渡って開かれた「予算議会」も終わり、いよいよ新年度がスタートしました。

●埼玉県平成24年度一般会計予算は1兆7000億円。そのうち教育費に32%、民生費に17%（生活保護・高齢者福祉・障害者福祉・児童福祉・母子福祉などに使うお金）が割かれます。

●上田埼玉県知事の3大プロジェクト

- ①エコタウン構想「創エネ・省エネ」によるエネルギーの地産地消を目指す。
- ②ウーマノミクス 保育サービスの充実など女性が働きやすい環境作り。
- ③健康長寿プラン 地域活動による生きがいがづくりなどによって、日本一の健康長寿地域を目指す。

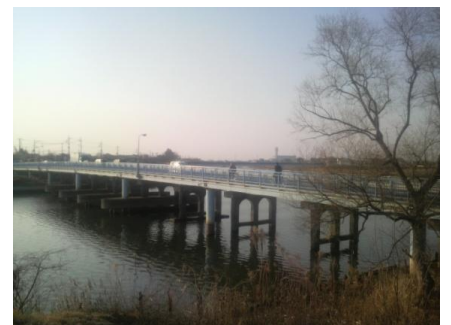
## ①吉川橋について

●越谷の県議4名（自民党・民主党・公明党・みんなの党）と共に「吉川橋架け替え早期実現を目指す埼玉県議員の会」を立ち上げました。

●現在の用地買収率は、僕が県議となった直後の昨年6月の約54%（越谷93%・吉川29%）から62%（越谷93%・吉川41%）となり、買収済み区画の更地化が進んでいます。

●今年度も、吉川橋は重点地域に設定されており、約7億円の県予算が計上され、橋の袂の区画買収が済み次第、工事に入る予定です。

●H24年2月14～18日には橋の詳細点検があり、強度に問題無しとのことでした。



●自動車の仮橋設置は難しいというのが現状ですが、4月中旬からは交通状況調査を行い、架け替え工事期間中の交通処理計画が検討されます。

●今後も進展等あれば、ご報告します。また、「吉川橋架け替えについて」のご質問・ご意見あれば、中原恵人事務所までご連絡ください。すぐに伺います！

## 吉川美南駅開業！！

(3月17日)



◆「越谷レイクタウン駅」以来4年ぶりとなる武蔵野線新駅「吉川美南駅」が開業しました。

◆吉川市による請願駅であり、吉川市は15億円、鉄道運輸機構35億円、JR東日本28億円の負担となっており、折り返し運転の機能も備えています。

◆16日は式典があり、市民代表、県議として、「関係者への感謝の意」、「駅の安全」、「今後の吉川市の発展」についてご挨拶させていただきました。



## さくら通り(葛飾吉川松伏線)

3月24日に無事開通しました。！これにより外環三郷付近から吉川市中央部まで10分以上の短縮が可能になりました。

◆しかし、便利になった一方で、外環からの大型車の増加による美南地区の交通安全面や、野田方面へ向かう車の増加によるきよみ野地区の交通状況の変化など、早急に調査対応すべき課題が生じています。

◆他にも問題が生じるようであれば、ご連絡ください。



## ②道路と線路について

### ●東埼玉道路(楢円枠)

外環道路から北上し、図の中央下方区画のレイクタウン地区を縦に通過している線が「東埼玉道路」。国道4号線のバイパスとしての機能を持つこの道の一部が吉川市須賀地区を通るのだが、「吉川橋架け替え」「さくら通りバイパス開通」という状況にある吉川市にとって、未来に向けた道路ビジョンの根幹を成す道として、点線部分への延伸が急がれる。

### ●地下鉄8号線(楢円枠)

野田市から東京直結を目指す地下鉄8号線。「吉川美南駅」を通る計画もあったが、残念ながら現在は八潮駅～越谷レイクタウン駅を結び、さらに上記の東埼玉道路に沿った形で野田市駅まで続く計画で進行。

松伏町への駅建設など、埼玉県東部においては地域活性化の鍵になるこの8号線の早期実現を目指します。



### ●越谷野田線(点線枠)

野田橋から西に向かう越谷野田線。一部開通はしているが、吉川市区間をはじめ、まだ未整備箇所が多く残る。

国道463号線に直結し、浦和と直線で結ばれるこの道路が完成することでの経済効果は計り知れない。早期実現を目指します。

## ③吉川美南駅周辺開発について

●美南地区82ha(三角枠)は9200人、また開発がはじまった操車場跡地28.8ha(白色直線部)は3500人の計画人口となっており、パチンコ屋などは営業出来ないなど、市独自の計画を進めています。

●一面の田んぼが続く東口側63ha(丸枠)の開発においては、現在、市街化区域編入し宅地化という方向で国・県と調整中ですが、この地域の開発は吉川市の未来を決定してしまう程の重要性を持ちます。単なる宅地化ではなく、多くの市民の意見を集め、大きな夢を描くべきですし、そうしたことが出来得る区域です。

### ●ビジョン1

例えば、駅を出たらすぐに大きな公園が広がる。その左奥から抜ければ、さくら通りへとさくら並木が続く。さらに真っすぐ公園を抜けると新しく生まれ変わる「吉川高校」が現れる。その周辺に専門学校を誘致し、学生を増やし、さらに高齢者向けグループホーム施設等を配置する。



### ●ビジョン2

住宅化するとしても、未来へのモデル地域として、知事のプロジェクトと連携した「エコタウン化」を全面的に取り入れ、全エネルギーの地産地消タウンとする。さらに豊かな農地を生かした「食の地産地消」をも取り入れた地区として全国自治体の視察先になるほどの先進的開発を実践する。

●他にもアイデア募集します。声を大きくし、行政に届けましょう！



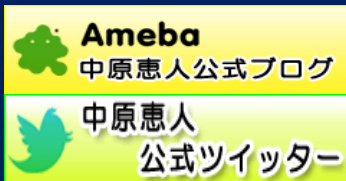
## 北朝鮮拉致被害



◆いち地方議員として、出来ることは少ないかもしれない。けれど、突然家族を奪われた苦しみ、この事実に対して強気に動けるのは政治だ。ここに尽力せずに、政治家と言えるのか…。そう思って活動しています。

◆中原恵人事務所に拉致関連DVD、支援情報等あります。ご協力お待ちしております。

## ブログ&ツイッター



◆ブログ・ツイッターは一度登録してしまえば、以後簡単に見ることが出来ます。県政についてや、日々の活動で僕が感じたこと、学んだことをタイムリーに記しているの、ぜひご登録ください！

様々なご意見・ご要望  
陳情を受け付けています！  
お気軽にご連絡ください！(^\_^)

【中原恵人事務所】  
〒342-0041  
埼玉県吉川市保 462-1  
(☎FAX) 048-983-7886  
(E-mail) office@nakahara-shigeto.com

(HP)  
<http://www.nakahara-shigeto.com/>

発行部数 30000 部  
発行日 2012 年 春

## ④吉川高校について

●平成 25 年度に新高校としてリニューアルスタートする「吉川高校」。今のところ「吉川美南高校」という新名称が有力候補。

●全日制 120 名と定時制 160 名（昼部 80 名・夜部 80 名）の生徒数で、自分の希望する科目を選択できる「総合学科」として生まれ変わる。



●今後の課題は、学力・就職定着率 UP。さらに、地域で愛され、必要とされる学校になること。「野球部復活」や、後述する「演劇部の地域密着」など地域融合のアイデアはいろいろある。皆さんで共に盛り上げませんか！！

## ⑤さくら通りについて



●県土に占める河川の面積割合が **3.9%** で日本一の埼玉県。上田知事は 4 年間で 100ヶ所の河川、農業用水路の再生を目指す「水辺再生 100 プラン」を展開。ドブ川と呼ばれていた川を写真（川口市）のように見事に再生してきた。

●吉川市でも大場川、鍋小路用水路など三か所が対象区域となり、プランが推進されたが、もっとも再生が求められているのは「さくら通り」沿いの「木売落し」と「二郷半用水路」。



←木売落し  
下水接続率が課題。このままでは中川汚染の元凶に。

二郷半用水路→  
全売電収入を管理者の運営費  
使用に認められた現在、小水力  
発電の可能性を秘める。



### ●ビジョン1

多重構造化などによる下水機能、雨水貯蓄、農業用水路の役割の分離統合。そして水に触れられるよう、親水型への改修。

### ●ビジョン2

そこに地元商店の誘致を進め、昔ながらのお団子屋、せんべい屋、一杯飲み屋、和物小物屋さんなどを配置し、にぎわいを創出。